

問1 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何ですか。

問2 太陽が動くと、それにとまって地面にできたかげも動く現象げんしょうを何といいますか。

問3 太陽を直接ちよくせつ見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問4 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問5 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問6 校庭に、棒ぼう（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問7 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問8 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側はんたいがわにできる暗い部分のことを何といいますか。

問9 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

問10 温度計を使ってももの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わるつたわのは温度計のどの部分ですか。

問11 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問12 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問14 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがいがありますか。

問15 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問16 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 温度計	えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる道具を温度計といいます。
問2	答え かげの動き	太陽が動くと、それにとまってかげも動きます。この現象を「かげの動き」といいます。
問3	答え 太陽の動きや形を観察するとき	しゃ光板は、目をいためないように太陽を直接見るときに使います。
問4	答え 東から西	太陽は、時間がたつと東から南の空を通過して西へと動いていきます。
問5	答え 日光をさえぎるものがあるとき	かげは、日光をさえぎるものがあるときに、太陽と反対側にできます。
問6	答え すべて同じ向きにできる。	もののかげは、どんなものであっても、すべて同じ向きにできます。
問7	答え 直角（真横）にする	温度計の目もりは、温度計に対して直角になるようにして正しく読みます。
問8	答え かげ	日光がさえぎられたときに、太陽と反対側にできるものを「かげ」といいます。
問9	答え ほうい	北、南、東、西などの方向をあらわす言葉をほういといいます。北を向いたとき、右が東、左が西になります。
問10	答え えきの先（えきだめ）	温度計は、えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかる仕組みになっています。
問11	答え 日かげ	日光が当たっていない暗い場所のことを「日かげ」といいます。
問12	答え 日光（にっこう）	太陽から届く光のことを「日光」といいます。地球をあたたく照らしてくれます。
問13	答え ど	温度を表す「℃」という記号は、「度（ど）」と読みます。
問14	答え あたたかい	日光には地面や空気をあたためる性質があるため、日光が当たっている場所は日かげよりもあたたかくなります。
問15	答え えきの先	温度計の目もりを読むときは、えきの先と目の高さを合わせるのが正しい方法です。
問16	答え 日なた	日光が当たっている場所のことを「日なた」といい、地面は明るく、あたたかくて、かわいた状態になります。